



【戦評シート】

平成 17年 5月 4日(水)	協会名： 能代市 バスケットボール協会
場 所：能代市総合体育館	記入者：梅田 尚洋
チームA <u>岡山県選抜</u> 5 8	チームB <u>BG74</u>

{	12 - 25 22 - 17 7 - 20 17 - 19	}	8 1
---	---	---	-----

スターター	チームA： 5, 8, 15, 17, 18	チームB： 4, 10, 13, 14, 15
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン(2-1-2) その他()	チームB： マンツーマン ゾーン(2-1-2) その他()

大会は2日目、第2試合岡山県選抜対BG74である。注目は、岡山県選抜のポールアルジャノイとBG74のボスのセンター対決。

第1Q立ち上がり、両チームとも2-1-2のゾーンディフェンスのスロースタート。岡山県選抜は出だしからパスミスを連発しBG74に連続して加点を許す。ゴール下はダウネが着実に加点、ドイツチームの高さでの優位が伺える。第1Q終わり間際、岡山県選抜は朴が連続3Pを決める。第1Q終わって25対12でドイツチームのリードで終了。

第2Qは、岡山県選抜は第1ピリオドからの流れを維持し平石が好調、ジャンプショットや3Pが次々と決まる。一方BG74はボスをベンチに下げる余裕をみせるが2-1-2のディフェンスが安定している。第2Qは岡山県選抜の平石の活躍で反撃を開始する。第2Q終わって42-34のドイツチームリード。

第3Qは立ち上がりからBG74のダウネがゴール下から加点。一方岡山県選抜は、平石を中心にアウトサイドシュートで流れをつかみかける。しかし、執拗なBG74のダウネ、ボスのゴール下の攻撃に岡山県選抜もファウルが重む、またニースの効果的なスリーポイントも決まりBG74の21点リードで第3Q終了。

第4Q立ち上がりからBG74のボスの豪快なダンクシュートが決まる。岡山県選抜はポールアルジャノイと平石のシュートで追い上げを計りたいが、思うようにシュートが決まらない。勝負はゴール下を制圧し、終始安定した攻撃を見せたBG74が81対58で快勝した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。